

たぬきだにさん

狸谷山不動院



叡山電鉄一乗寺駅の東、急な坂を上っていったところに狸谷山不動院はある。その名の通り信楽焼の狸がたくさん置かれており、さながら異世界のような。この狸は、平安時代に桓武天皇の命で祀られた本尊、叱怒鬼不動明王にちなんだものだそう。「鬼を叱る」ほど厳しい顔をした不動明王は、悪霊退散、また交通安全の仏様として地域の人々に親しまれている。

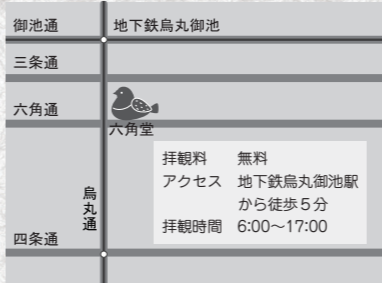


◀ (上) 入口でたくさん
の狸がお出迎え(左下)
本殿(右下) 七福神に
混じってここにも狸が



六角堂

都心部四条烏丸の近く、ビルの中にひっそりとたたずむお寺。聖徳太子ゆかりのお寺で、本堂の屋根がその名の通り六角形をしている。ここでは生きた本物の鳩が出迎えてくれる。もともと鳩とゆかりがあった土地ではなかったそうだが、都心部であり、観光客が鳩豆をあげられることから自然と鳩が集まるとされている。かわいらしい鳩みくじはおみやげとしても人気だ。



▶ (上) 本殿。六角形の
屋根が特徴的だ(左下)
境内のあちこちに鳩が
(右下) 鳩みくじ



いきもの神社仏閣

京都
うろつきまわりんく

梅雨時で気分が落ち込みがちな6月、せんか？ 今回はかわいい動物にゆか

ちょっとした癒しを求めてお出かけしてみまりのある神社とお寺を紹介します。(家兎)



岡崎神社

京大から少し南に下るとある神社。ここは「狛兎」からはじまり、手水舎には子授け兎の像があり、また、提灯、絵馬、おみくじ、お守りに兎の絵が入っている兎づくしの神社なのである。これは昔この場所が野兎の生息地であったことに由来している。御祭神の速素盞鳴尊、櫛稲田姫命が子だくさんなことで、兎が多産なことから子授け、安産、縁結びなどの御利益があるそうだ。



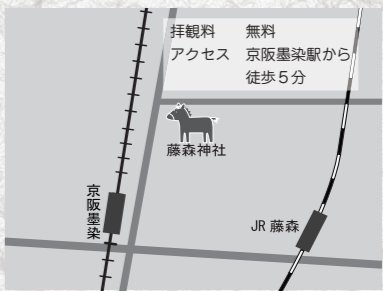
▶ (上) 兎づくしの本殿(左下) 狛兎、こちらは雄みくじ (右下) うさぎ



藤森神社



京大からは少し離れた京阪電鉄墨染駅から歩いて5分程のところにある神社。手水舎のとなりかたにある神馬像が目を引く。馬上で高度な技を披露する駈馬神事が奉納されることから馬の神様として知られている。また菖蒲の節句の発祥の神社としても有名で、馬と、菖蒲に掛けて「勝負」から勝負事の神様、特に競馬の神様として競馬関係者やファンからも愛されている。



▶ (上) 神馬像(左下) 本殿。絵馬は競馬に関するお願いが多い(右下) 勝負運の神様金太郎像

はみだし
すてーじ

上手にはみ出せない……
⇒誰もがはみだし1年生です。気負わずいきましよう。

(工・2 まる)
(返し1年生;編)

はみだし
すてーじ

大学を卒業して1回生に進化しました。
⇒次は社会人1年生に進化ですね！

(農・院 ユビキノ)
(メガ進化?;編)